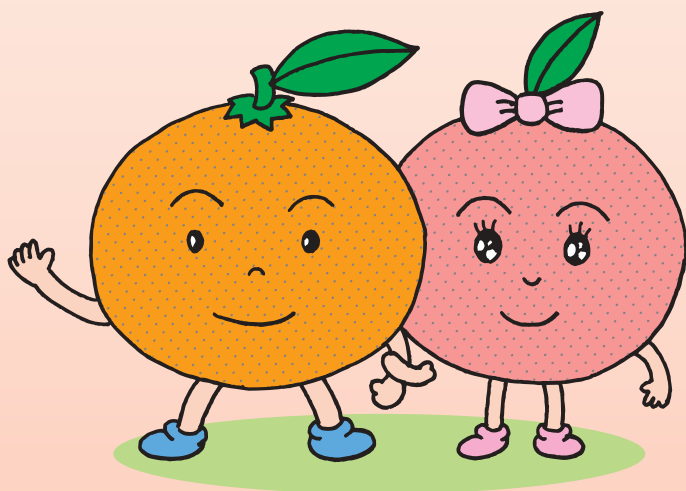


こころの講座 3

# 統合失調症

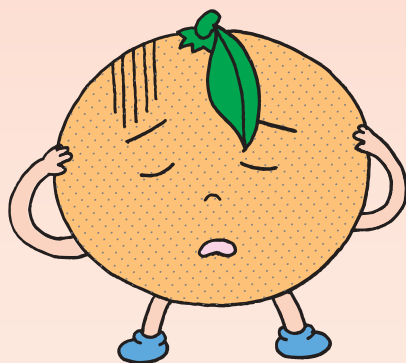


静岡市こころの健康センター

# 1

## 統合失調症とは

統合失調症は脳の中にある神経伝達物質の異常が原因と考えられています。多くの場合 10 代後半から 20 代の思春期・青年期に発病し、発病率は約 1% (100 人に 1 人) で、性別や地域で発病率の差はありません。



# 2

## 原因

統合失調症の自然科学的原因について研究はされていますが、まだ仮説的段階ではっきりとは分かっていません。

一つの原因で発症するのではなく、いくつかの因子が重なり発症に至ると考えられています。

育て方や本人の心がけが原因でもありません。

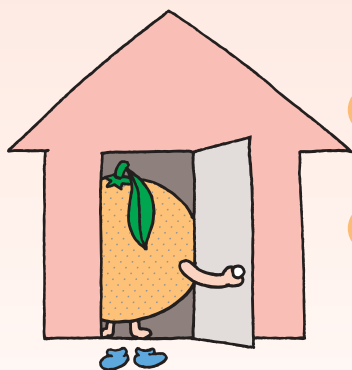
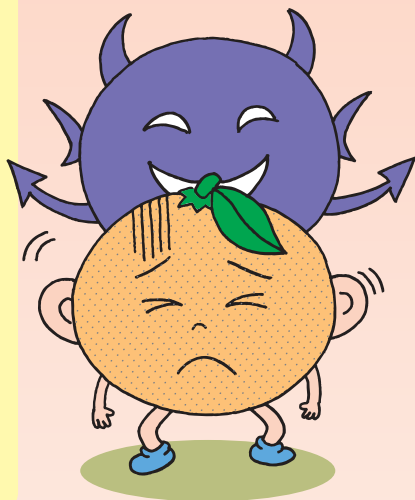
誰でもが、かかりうる病気です。

# 3 症状

● 人の声や物音に敏感になったり、実在しない音が聞こえてくる体験をします。内容は悪口や脅し、命令が多くつらい思いをします（幻聴）。

● 人から被害を受ける、脅されるなど、実際にはありえないことを信じます（妄想）。

● 考えがまとまらず話がまとまらなくなります（思考障害）。



● 疲れやすくなり、人と会うのが嫌になって閉じこもりがちになります（無為）。

● 感情の動きが乏しくなり、周りに無関心になります（感情鈍麻）。

● やる気や意欲がなくなってきました（意欲低下）。

● 不安やいらいらが強く、夜眠れなくなります（不安・焦燥、不眠）。

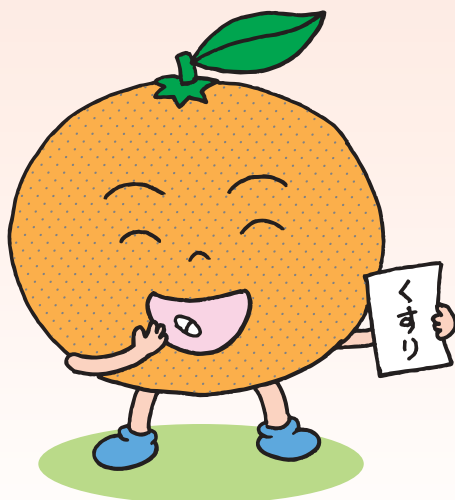
# 4 治療

脳内の神経伝達物質のバランスを整える薬を服用します。薬によって不安を和らげたり、幻聴などの病的体験を軽減したり、考えのまとまりを改善させることができます。

薬は調子が悪いときだけのむものではなく、症状が安定しているとき、再発予防のため定期的にのむ必要があります。

副作用をおさえる薬、気分を落ち着かせる薬、睡眠をとりやすくする薬など、いくつかの種類薬をのむこともあります。

意欲の低下などの症状は薬では十分な効果が期待できないことがあり、このようなときはリハビリテーションと組み合わせると効果があります。



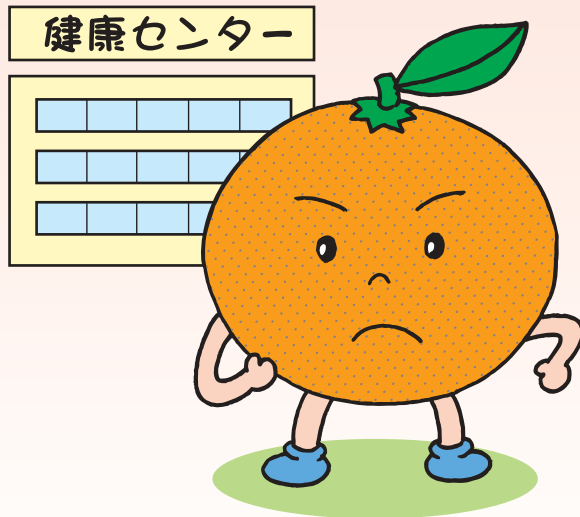
# 5

## 社会資源

リハビリテーションはデイケアや就労移行支援事業所等の福祉施設などに通所して行うことができます。

他にも利用できる制度や施設、社会復帰等に関する相談については次の機関でご相談されてみてはいかがでしょうか。

- (1) 保健所や精神保健福祉センター（こころの健康センター）では精神保健福祉相談員、保健師等が相談を受けています。
- (2) 病院やクリニックおよび障害者相談支援事業所のソーシャルワーカーに相談することができます。



# Q&A



## 治る病気ですか

---

治らない病気ではありません。ただストレスに弱く再発しやすい病気です。薬物治療やリハビリテーションで再発を予防することができます。

## 遺伝する病気ですか

---

子供が発症する確率は、両親のどちらかが統合失調症の場合は 13%、家族や親戚に患者がいない場合は 1%です。遺伝の影響はありますが、それがすべてではありません。遺伝子以外にも多くの因子が関与していると考えられています。

## 統合失調症の新しいお薬ができたのですか

---

ここ数年非定型抗精神病薬と呼ばれる新しい薬が開発され、広く使われています。従来薬で効果がなかった人にも効果がある、従来薬より副作用が弱い、などが特徴です。

## 薬の副作用は大丈夫ですか

---

作用効果のある薬は副作用もあります。統合失調症の薬でよくみられる副作用は、眠気、口が渇く、便秘になる、ろれつが回らない、手がふるえるなどですが、これらの副作用は薬を調節することで消失します。

舌や口が自然に動く、高熱と汗が出て身体が硬くなるなどの症状が見られたときは速やかに主治医にご相談ください。

## 本人が受診や治療を拒否しますがどうしたらいいですか

---

個人個人で対応方法が違ってきます。ご家族が医療機関、保健所、精神保健福祉センター（こころの健康センター）等の相談機関に相談してみましょう。

## お問合せ先

### 静岡市こころの健康センター

〒420-0821 静岡市葵区柚木 240

**TEL 054-262-3011**

静岡市ホームページ

<http://www.city.shizuoka.jp/>

2013.3発行